



# ザンビアの経済概況・月報(2019年2月)

主なマクロ経済指標	2018年	2019年
1. 人口 (百万人)	17.09 (2017)	-
2. 人口増加率 (%)	3.0 (2017)	-
3. 失業率 (%)	41.8 (Q3)	41.8 (2018, Q3)
4. 平均寿命 (年齢)	51.4(男性)/54.7(女性) (est)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	25,868 (2017)	-
6. GDP成長率 (%)	3.4 (2017)	3.6 (proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,290 (2017)	-
8. インフレ率 (%)	7.9 (Dec)	7.8 (Feb)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	216.99 (Dec)	220.87(Feb)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-438.39	78.63*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	109.86*4	-0.63
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	9,059.36	701.89*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	168.30*4	2.93*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	9,497.75	623.27*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	58.44*4	3.14*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-1,006 (2017, est)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-149 (2017)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,091(2017)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	1,590 (est)	1,599 (Oct, 2018)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	10,050 (Dec)	10,050 (Dec, 2018)
21. 為替レート (対米ドル)	10.45ZMW	11.92 ZMW (Feb)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.75 (Nov)	9.75 (Feb)

※( )内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 GDP at market prices (Current USD)
*2 2019年1月の貿易額。1USD=11.93ZMW (2019年1月のザンビア中央銀行が替相場月平均を用いて換算)
*3 2019年1月の貿易額。1USD=113円 (2019年1月の日銀基準外国為替相場月平均を用いて換算)
<2019年1月>
主要輸出品目: 電解精錬用の銅陽極/精製銅陰極/エレクトロウオン銅陰極/粗銅/硫酸/発煙硫酸
主要貿易相手国(輸出): スイス 41.6%, 中国 21.6%, シンガポール 10.5%, コンゴ(民) 9.2%, 英国 3.7%, その他 13.4%
主要輸入品目: 石油/ボーリング及び掘削機械/硫黄/薬剤・薬品/軽油
主要貿易相手国(輸入): 南ア 24.0%, 中国 16.8%, インド 10.5%, アラブ首長国連邦 8.9%, クウェート 8.0%, その他 31.9%
*4 1USD=110円 (2018年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典>
1, 2, 5-7, 20: World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report / 19, 21: Country Report (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21, 22: Bank of Zambia

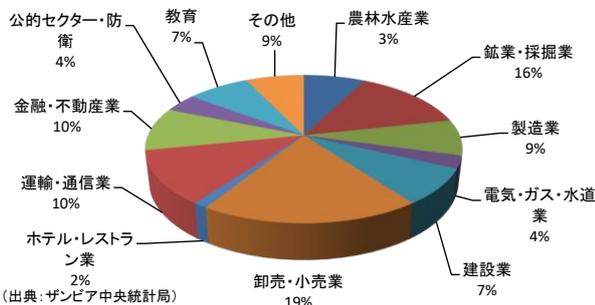
## <ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax):** 35%。  
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**  
4-6% (ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**  
関税は商品(コモディティ)毎に、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※ 鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

## GDPセクター別構成(2018年第1-第3四半期)



## 主要な経済ニュース(2月)

### 1. 国家予算の半分が給与支払いに拠出(Daily Mail, 4日)

シチェンベ会計官は、国家予算の支出の50%以上が給与支払い関連であり、経済拡大に影響を及ぼしていると述べた。また、同会計官は、経済成長を促すインフラ開発を支えるため、消費とは反対に、資本形成が必要であると述べた。さらに、同会計官は、然るべき人々が名簿に登録され、正規の額を受給することを確実にするため、給与支払い簿の検証が開始されたと述べた。

### 2. ザンビア、日本に注目(Daily Mail, 5日)

自動車のバッテリーの主材料である金属の価値を高める努力の一環として、ザンビア政府は日本に対してコバルト加工場及び関連技術を国内に設立するよう要請した。ムスクワ鉱山鉱物開発大臣は、南アフリカで行われているマイニング・インダバにおいて、閣僚副大臣に対して同要請をした。ザンビアと日本は、特に銅とコバルトの鉱山探査および資源の開発・付加価値の見直しに関して協議した。

### 3. ムワナクウェ財務大臣、年末までのIMF支援プログラム合意を目標(Daily Nation, 7日)

ムワナクウェ財務大臣は、ザンビアへのIMF支援プログラム確保のために、政府はIMFと協議していると述べた。また、ザンビアが支援を受けられるよう、財務省は必要な措置を講じてきたと述べた。さらに、同大臣は、「年末までには何かしらの結果を見たい。そのために我々は、債務に関して持続可能な今後の道筋のために様々な措置を実施した」と発言した。IMFからの13億米ドルの借入確保のために2016年から続いたザンビアの努力は、債務計画への懸念から停止されてきた。同大臣によると、IMFミッションは昨年11月にザンビアを訪れ、今年3月には3週間再訪し、支援プログラムについても協議することが予定されている。

### 4. 商品・サービス税(売上税)は35億クワチャの徴収を可能にする(Daily Mail, 7日)

商品・サービス税の導入によって、鉱業セクターから最低でも年間35億クワチャの徴収が可能となる。シュコ・ザンビア歳入庁(ZRA)長官代理は、商品・サービス税(GST)として知られる還付なしの売上税は、付加価値税(VAT)及びVATの長所を生かし、売上税の短所を最小限にする典型的な売上税の融合体であると述べた。また、同氏は、GSTは未払金の返済に必要な財政的余力の創出を助け、債務返済の加速を抑え、また、過去のすべての争い、特に鉱山企業との争いを解決するであろうと述べた。

### 5. 政府は経済成長のために572億クワチャを求める(Daily Mail, 17日)

政府は、国民のための第7次国家開発計画(7NDP)で挙げられている事業を効果的に実施するため、ザンビアの援助国・機関から572億クワチャを動員することを目標としている。チテメ国家開発計画大臣は、全ての開発事業を効果的に実施するため、ザンビアは様々な援助国・機関と協働していると述べた。また、同大臣は、「政府は引き続き、我々の援助国・機関による貴重な貢献を高く評価していく。また、政府は7NDPの事業に資金調達するためにさらなる方策を講じ続けることになろう」とも発言した。さらに、同大臣は、「税制度の変更は、円滑に実施されれば、国内歳入を大幅に強化し、ザンビアの外国からの借入れ依存度の軽減に資するであろう」とも発言した。

### 6. 外貨準備高は15億7千万米ドルのみ(Times of Zambia, 21日)

ザンビアの外貨準備高は、過去10年間の最低値である15億7千万米ドル(1ヶ月と24日分の輸入経費相当)まで減少した。カリヤリヤ・ザンビア中央銀行総裁は、ザンビアの外貨準備高は、2018年9月末に記録された16億3千万米ドルから、15億7千万米ドルに減少したと述べた。同総裁は、対外債務返済が外貨準備高減少の主な原因であると述べた。